

寿都町対話の場^第16回

16①

日時：2023年5月9日(火) 18:30~20:30

場所：寿都町総合文化センターウズコム

次第：文献調査について

- ・前回のふりかえりと進捗状況の説明
- ・自由討論とまとめ

将来の町の在り姿について

- ・自由討論のまとめ

文献調査
結果について

概要調査
について

具体的な
内容を
説明する

凡例

16②

タイトル

火山

P9にある火山群は
全て除外なのか

あとで考慮する
ポイントである。
(文献ページは
明確にはうらない)

地質調査

ホーリングは何箇所
程度か？

質問
意見

回答

全国的に文献調査
の進捗状況を
伝えるべき
(国民全体の興味を
持ってもらうため)

今後の プロセス

説明方法

「説明」の前に
興味を持ってもらえるか？
話を聞いてもらえるか？
例えは

町民の中にも
関心の温度差が
ある。

例えは

最終的に
国に押し切られる
と不安を感じる
町民もいる。

報告書の位置
付け、手順が
分らない。

町民が興味を
もつ方向を
見極め
例：5年1-月の
処理にて

10万年管理の低減と
向けたプロセス、仕組み
を分かり易く説明すべし
※全てが自然界に存在
するレベルに至るまで
10万年要するといふ
誤解があるのでは？

報告書の説明
だけでなく、制度につ
いてもキチンと説明
すべきではないか。

住民投票の判断
材料として
概要調査の内容、
進め方を伝えるべき

断層の存在による
処分反対がある
どう説明するか

「10万年管理」が
一人あたり、100トン
もって半減期の短い
ものが大半であること
訴えて欲しい

「高いレベルの廃棄物」と言っても
1000年より長い廃棄物と
10万年必要な廃棄物がある
のが伝えられていない！
(説明が十分正確でない)

具体的な
概要調査について
説明すべき

処分する、の 妥当性

再処理より、使用
済燃料の体積は
減少するの？

地層処分するモノ
(ないモノ)
↳ 具体的に何？
定義は何？

再処理
直接処分
※リスクが
高いのでは？

地層処分
するもの：高レベル
放射能廃棄物
しないもの：低レベル
放射性廃棄物

体積は1/4程度
(直接処分) 4m³
↓ 圧縮化
(ガラス固化体) 1.3m³

埋めて終了と
捉えられており、
管理が行届かないと
の疑念を抱かれ。

(処分場の大きさ)
ガラス固化体の処分場の大きさ
1.2倍とすると -
直接処分の場合
1-3倍必要

まちの あり姿

せっかくアイデアを出して
まとめた
これから更に盛りあげていき
町内の関係者がそれぞれ
得意分野で力を発揮して
できることをやっていきたい

色んな人(業者等)がもっと
入って話せるように(例 若人
田舎者)
そういう機会をつくれる
ようになるようにしたい

↑回限りで終わらず
継続することで
よい方向にしたい